

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 1日

事業所名 児童デイサービス ほぶらきらら

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4	0	静かな空間を希望される方には2階を提供している	
	2 職員の配置数は適切である	4	4	0	利用者の安全に配慮し、日程調整をする	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4	0	手すりやスロープが付いている。段差がないようにしている	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	4	0	・目標に対しての振り返りを職員間でし、次回の支援につなげている。 ・資料等を作って、読んで理解している	・休みの職員にももれがないようミーティングノートを活用し、確認印をおす。 ・ミーティングで意見交換をする。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	0	アンケートを参考にしている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	ホームページに掲載し公表している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4	0		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2	0		
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2	0	アセスメントツールを見て適応行動の状況の参考にしている	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0	チームのミーティングで作成している	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	0	マンネリ化しないよう時節の活動を取り入れている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	長期休日には体験型の外出など設定している	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	0	集団活動をして、他の時間に個別活動を行うようにしている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	毎朝、ミーティングし、分担の確認等行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	0	退勤時間にばらつきがあるため、気付いた点をミーティングノートに記入し共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	記録は抜け落ちがないようチェックし、改善につなげている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	定期的に見直しを行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2	0	ガイドラインの読み合わせをする		
関係機関や 保護者との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1	0	スタッフと子どもの様子を共有して管理者が行っている。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	0	学校と情報共有を行っている	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6	0	必要な場合は連絡をとっていく	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4	0	相談支援員を通じて情報を共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	6	0	要請があれば提供する	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	0	相談支援員を通じて間接的に情報を共有している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3	3	外部の方との交流は控えた	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	0	6		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	送迎時等にはその日あった事や変化の様子などを話している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	0	必要に応じて支援していく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1	0	随時相談があったときには、相談に応じている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	0	要望があれば前向きに検討する。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	0	苦情は、スタッフ間で相談し、対応の整備をし迅速に解決するようにしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	0	ご利用者に毎月おたより、行事予定を配布し活動の様子をお伝えしている。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	個人情報外部の目や耳に触れないように配慮している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	言葉を介さない利用者には絵やマークを貼ったり、指さしなどをした。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	0	・地域の方に絵本のボランティアに入ってもらっている。 ・見学希望者は受け入れた	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	4	0	マニュアルは策定してある	更新したものを策定していき、職員や保護者に周知していきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	年2回避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	0	社内研修を行っている。疑問に感じたことは相談し合っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	2	0	身体拘束検討委員会の中で必要性を話し合っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	0	必要があれば対応する	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3	0	ヒヤリハットを活用している。	